

ノロウイルスG I 検出試薬キット ノロウイルスG II 検出試薬キット



●ノロウイルスRNAをRT-LAMP反応で検出

ノロウイルスgenome RNAをサンブルとし、逆転写酵素によりcDNAを合成するRT反応と、cDNAからの増幅反応を1ステップで行うことができるRT-LAMPで検出します。

- ●ノロウイルスGenogroup I (G I)と II (G II) を特異的かつ迅速に検出 ノロウイルスgenome RNA内の保存性の高い領域に対し設計した、G I 、G II のそれぞれに特異的なブライマーを使用しています。 また、増幅効率が高いLAMP法により、反応は1時間で終了します。
- ●リアルタイム濁度測定装置で増幅から検出を1つのチューブで完了 東思の「construct National National

専用の「Loopamp リアルタイム濁度測定装置」を用いて、増幅から検出までをワンステップで行うことができます。 また、電気泳動での検出を必要としないため1つのチューブで完了します。



ノロウイルスG I 検出試薬キット/ノロウイルスG II 検出試薬キット

Norovirus G I Detection Kit / Norovirus G II Detection Kit

●本キットの製品概要

ノロウイルスは12~3月をピークに流行する急性胃腸炎の1つで、 主症状として嘔気、嘔吐、下痢があり、まれに重症化し死亡する例 も報告されます。厚生労働省の食中毒統計(2024年)によると、 ノロウイルスの発生件数は第2位、患者数は第1位です。 感染は主としてカキに代表される2枚貝の生食によるものと考えられ ていましたが、100個以下のウイルス量でも感染することから、最近 ではノロウイルスに感染している食品従事者が、調理過程において食 品を汚染したと推定される食中毒事例が増加しています。

厚生労働省の「大量調理施設衛生管理マニュアル」(最終改正:平 成29年6月16日)において、調理従事者等は10月から3月までの 間には月に1回以上又は必要に応じてノロウイルスの検便検査に努 めるよう記載されており、また、遺伝子型によらず概ね便1g当たり 105 オーダーのノロウイルスを検出できる検査法を用いることが望ま しいとされています。

Loopamp ノロウイルスG I 検出試薬キットはGenogroup I (G I) genome RNA、Loopamp ノロウイルスGⅡ検出試薬キットは Genogroup II (GII)genome RNA内の保存性の高い領域の 核酸配列を認識するプライマーを用いて核酸の増幅反応を行い、 その増幅の有無からそれぞれのノロウイルスGIおよびGⅡの有無 を判定します。

核酸増幅の検出は、反応副産物であるピロリン酸マグネシウム(白 色沈殿物質)による濁度の増加を測定することによって行います。 濁度測定には専用の「Loopamp リアルタイム濁度測定装置」を 用います。

●キット構成

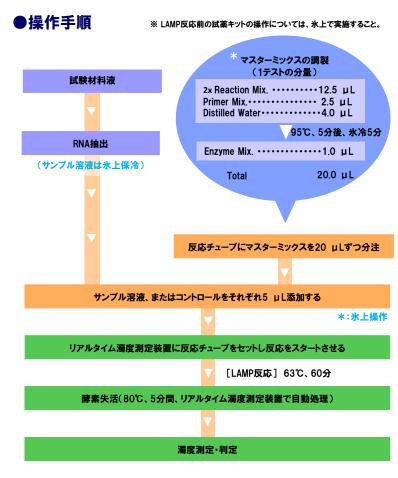
ノロウイルスG I 検出試薬キット

[1]2x Reaction Mix. NV1(RM NV1)	$0.6\mathrm{mL}\times1\mathrm{tube}$
[2]Primer Mix. NG1(PM NG1)	$0.12\mathrm{mL}\times1\mathrm{tube}$
[3]Distilled Water (DW)	$1.0\mathrm{mL} imes1\mathrm{tube}$
[4]Enzyme Mix. (EM)	$50 \mu L \times 1 tube$
[5]Positive Control NVG1 (PC NVG1)	$0.1\mathrm{mL}\times1\mathrm{tube}$

ノロウイルスGⅡ検出試薬キット

[1]2x Reaction Mix. NV(RM NV)	$0.6\mathrm{mL} imes1\mathrm{tube}$
[2]Primer Mix. NVG2(PM NVG2)	$0.12\mathrm{mL} imes1\mathrm{tube}$
[3]Distilled Water (DW)	1.0 mL \times 1 tube
[4]Enzyme Mix. (EM)	50 μ L \times 1 tube
[5]Positive Control NVG2 (PC NVG2)	$0.1\mathrm{mL} imes1\mathrm{tube}$

()内は、試薬チューブに記載されている表示です。



※使用上又は取扱い上の注意については、使用説明書をご参照ください。 ※Loopamp リアルタイム濁度測定装置に関する内容は

Eiken GENOME SITE (https://loopamp.eiken.co.jp/)をご覧ください。

※本キットに使用する反応チューブは、必ず専用の「Loopamp 反応チューブD」をご使用ください。

●貯蔵方法・包装単位・有効期間・製品コード

製 品 名	包装単位	貯蔵方法	有効期間	製品コード
Loopamp ノロウイルスG I 検出試薬キット	48テスト分	−20 °C	1年間	LMP301
Loopamp ノロウイルスGⅡ検出試薬キット	48テスト分	−20 °C	1年間	LMP302

(別売)反応チューブ

製 品 名	包装単位	貯蔵方法	有効期間	製品コード
Loopamp 反応チューブD	8×12 sets	室温保存	36力月	LMP906
	8×120 sets			LMP907

注)本キットは臨床診断の目的では使用できません。 本キットは定性検出キットであり、定量測定目的に開発されたものではありません。